

青年部 本社折衝を行う!!

2014年1月20日、貨物労組青年部はJR貨物本社にて本社折衝を行いました。今回の本社折衝は昨年12月17日に青年部折衝を行う予定で、青年部員の声を基に要求項目を立てて実態調査を行いました。しかし、会社からダイヤ改正の発表前を理由に当日の開催は困難とされ、延期開催となりました。

1. 帰省旅費の適用について、距離に関わらず全面適用とし、年2回から12回に増やし、対象年齢を33歳までに引き上げられたい。

会社 一般的企業を見て、『帰省とは何なのか?』。別居手当は出しているが、独身に出しているのは少数の企業である。ネックになっているのは『世間に無い制度』であるという事。

この場では決められないので、皆さんの声を受けて検討していく。

2. 検修手当及び技能手当の増額、および信号業務の手当を新設されたい。

会社 検修手当や技能手当について、プライドを持てる制度となるように議論をしていかなければならない。信号業務手当についても、信号は旅客とのやり取りがあり、通常の業務ではないと理解している。これについても議論させていただきたい。

3. 現在の全国ネットワークおよび基地の今後の在り方について、会社の考えを明らかにされたい。

会社 基地問題は大きな事なので本社～本部間で話をしていく。

組合 職場で働く青年部員は不安を持ちながら仕事をしている。青年部員の雇用不安を招く基地廃止を絶対許さない。会社は職場の声を重く受け止め、青年部員の働く職場に責任を持ってもらいたい。

4. 設備及び施設について決定している修繕、更新を速やかに行われたい。

組合 札幌（夕）構内での事故だが、同じ場所で4月と12月の2回事故が起きた。4月に事故が起きた時、6月に申し入れを行ったが、支社は対策をとってこなかった。結果、12月に同じ場所で同じ事故が起きた。ハード対策をしていれば防げた事故だ。これは命に関わる問題である。

会社 調べさせてもらいたい。もし支社がやると言っておきながらやってこなかったならば、本社として支社に指導していく。

5. 寮・社宅の修繕および改善を早急に図られたい。

組合 敦賀の社宅（寮）だが、壁が剥がれている。井川城の社宅も部屋の中が氷点下であり、トイレの水が凍っている。とても人が生活できる環境ではない。

会社 敦賀の社宅に関しては調査する。井川城の社宅に関しても関東に至急確認をする。

6. 安全な職場環境を構築されたい。

①要員不足を解消されたい。

会社 職場の声は受け止める。職場から出てくる声を聞いてしっかり反映させていく。

②技術継承が十分に出来る様に、要員と教育の充実を図られたい。

会社 教育担当だが、一部を除き主な職場は配置出来てきたと考える。ただ、教育担当が機能しているのか調べなければならない。

③業務に見合った要員配置を行い、職務内容に準じた業務とされたい。

会社 一定の経験と年数を現場長が見極めた上で業務をさせなければならない。もし、それに見合っていない事が通常化しているならば、支社・主幹と話をする。